


受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会認定（試行事業）
試行事業病院総合医養成プログラム 年次報告書

2014年 7月22日

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
 理事長 殿

以下に記載した内容で、貴学会の試行事業における病院総合医養成プログラムとして認定を更新していただけますよう申請いたします。

プログラム責任者署名（自署） 

1. プログラム名称			
長野県厚生連佐久総合病院 病院総合医養成後期研修プログラム			
2. プログラム責任者			
プログラム責任者氏名	鄭 真徳	学会会員番号	
所属・役職	総合診療科部長		
所在地・連絡先	住所 〒384-0301 長野県佐久市臼田197 電話 0267-82-3131 FAX 0267-82-9638 E-mail teichong@gmail.com		
連絡担当者氏名*・役職	土屋 和久 ・ 人材育成推進室		* プログラム責任者と別に連絡担当者がある場合のみ記載
連絡先	電話 0267-82-3131 内線 452 FAX 0267-82-7533 E-mail rinkens@sakuhp.or.jp		
3. 最近1年間のプログラムの概要			
・研修者の感想や、アピールポイントをお書きください			
<p>当院では、2001年より「総合診療科後期研修プログラム」を開設し、数多くのジェネラリストを育成してきた。2008年からは、地域医療を担う「家庭医」を養成する目的を明確にした「地域医療部後期研修プログラム」に発展し、新たな一歩を踏み出した。しかし現在、主に診療所や小規模病院で働く「家庭医」だけでなく、中・大規模病院のジェネラル部門で働く「病院総合医」の必要性もさらに高まっている。数多くの病院総合医を育成する必要があると考え、「病院総合医養成後期研修プログラム」を開設した。（2012年度に募集開始、2013年度より開設。）</p> <p>【研修内容】</p> <p>総合診療科研修（18ヶ月）：佐久総合病院総合診療科にて、総合診療病棟、総合外来、救急車対応、地域ケア科（在宅医療担当部門）訪問診療、検診活動、救急当直業務を中心に研修を行う。</p> <p>救命救急センター研修（6ヶ月）：佐久医療センター救命救急センターで、救急車対応や重症患者の集中治療を中心に研修を行う。</p> <p>研修期間中、継続して総合外来で外来診療に携わるだけでなく、初期研修医の外来研修の指導を行う。教育についても学ぶ機会が多い。感染対策委員会や緩和ケアチームなどの横断部門に参加し、病院全体の診療の質改善に取り組む姿勢を身につけることができる。</p>			

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

4. 過去2年間の実績		
2013 年度	新規研修開始者数	0名
	研修修了者数	0名
2014 年度	新規研修開始者数	0名
	研修修了者数	0名

5. 現在のプログラム研修者該当者数（研修休止中の者を含む）							
1年目	0名	2年目	0名	3年目	名	4年目	名

6. プログラムにおける指導医 主たる施設における指導医以外の、関連病院の指導医は氏名の下に施設名を記載			
氏名	卒業年	専門分野・資格	専門分野・資格
鄭 真徳	2001年	内科学会 認定医・指導医	プライマリ・ケア連合学会 認定医・指導医
古谷 力也	1998年	内科学会 認定医 神経内科専門医	東洋医学会漢方専門医
高松 正人	1984年	内科学会 総合内科専門医 消化器病学会 専門医	肝臓病学会 専門医 超音波医学会 専門医

7. 施設・診療科診療実績概要	
病床数	351 床（内総合診療部門定床 70 床）
総合診療部門外来患者実績	初診 約 600 人/月 再診 約 600 人/月
総合診療部門入院患者実績	平均 約 60 人/月

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

8. 診療実績 研修者 1 人平均経験症例		
急性期一般病床入院	約	症例
集中治療室 (ICU)・HCU 入院症例	約	症例
外来継続診療症例	約	症例
看取り症例	約	症例
委員会活動実践事例	約	症例
教育実践事例	約	症例
研究実践事例	約	症例

9. 診療実績 研修者一人平均経験症例 領域別		
症例数不明の場合は、おおよその割合を記載してください		
研修領域	症例数もしくは割合	主な疾患名
心疾患系	約 症例	
	約 %	
呼吸器系	約 症例	
	約 %	
消化器系	約 症例	
	約 %	
代謝内分泌・血管系	約 症例	
	約 %	
神経系	約 症例	
	約 %	
腎泌尿器科系	約 症例	
	約 %	
リウマチ性・筋骨格系	約 症例	
	約 %	
皮膚	約 症例	
	約 %	
耳鼻咽喉科	約 症例	
	約 %	
その他	約 症例	
	約 %	

受付番号		受付日	20 年 月 日	決定日	20 年 月 日	決定	
------	--	-----	----------	-----	----------	----	--

10. 研修者の評価方法（研修修了認定の方法も含めて、具体的に）

各研修医がポートフォリオを作成し、自身の研修を省察する。定期的（月1回）にポートフォリオ検討会を開催し、同僚や指導医と議論・およびフィードバックを受ける。

研修終了時にはポートフォリオ発表会を開催し、各研修医がポートフォリオを提示し、最終評価を行う。

11. プログラムの質の向上・維持の方法

外部から定期的にアドバイザーを招いてプログラムの評価をいただき、改善策について協議している。

（外部アドバイザー）

- ・ 小泉俊三 前佐賀大学医学部附属病院総合診療部教授
- ・ 大西弘高 東京大学医学教育国際協力研究センター講師

その他、お気づきの点やご意見等ありましたら下記にお書きください